

令和7年度分 セルフモニタリング報告書

令和8年5月31日現在

施設名: 早来児童センター
指定管理者名: 学校法人リズム学園

モニタリング項目	指標	指定管理者コメント	自己評価
1 事業計画の達成度			
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理が行われたか。	利用者数 施設稼働率 (参考)利用料金収入の状況	行われた	A ・ B ・ C ・ D
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。		利用者については定員を大幅に超える学童保育の登録に加え、ランドセル来館の利用も併せて常時定員を超えていた。そのため利用者の拡大については十分達成されたと言える。併設する施設とも常時連携をとり、児童にとって安全で安心して利用できる学童保育が運営できたと考えられる。	A ・ B ・ C ・ D
自主事業は計画どおりに行われたか。	委託事業・自主事業の実施状況及び事業参加者数	予定していたプログラムはほぼ実施できたが、前年度と比較し、大幅に開催回数が減少した。要因として、新1年生の配慮児童の多さに加えて、特別支援学級の児童が常時二桁の利用となり、学童保育の体制確保を優先したためと考える。	A ・ B ・ C ・ D
利用者拡大・事業実施等の情報発信が行われたか	情報発信・事業PR回数	今年度は10周年記念公開研究会もあり、併設している子ども園との協力事業や、事業実施後のSNSでの発信等も随時行うことで町内外からの問い合わせも増えてきている。また、保育留学の受け入れも実施でき、実際に早来の学童保育にも触れる機会を提供できた。	A ・ B ・ C ・ D
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	地域・関係団体等との連携	マルシェ活動や放課後子ども教室での地域講師を含めた地域資源の活用もはじめとした連携についても適宜実施している。	A ・ B ・ C ・ D
2 利用者の満足度			

利用者の満足が得られているか。	利用者満足度	年度末に利用者アンケートを実施しており、保護者からの一定数の評価はいただいている。	A ・ B ・ C ・ D
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	苦情・要望の状況（利用者アンケート調査結果）	利用者アンケートと保護者と対面で直接お話を設けることができている。また、共有のためのICTの活用もできている。	A ・ B ・ C ・ D
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分に行われたか。	窓口体制の状況	都度対応していることで実施できている。	A ・ B ・ C ・ D
3 管理運営の効率性			
経費の低減は図られているか。またその取組は十分か。	効果的な管理運営取組状況	できる限りの経費削減には努めてはいるが、必要なものについては限界があるほか経年劣化による補修箇所も増加してきており、今後も検討していく必要がある。	A ・ B ・ C ・ D
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	効果的な管理運営取組状況	再委託している業務はなし	A ・ B ・ C ・ D
4 適正な管理運営			
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	職員の配置状況	努めている。視察に来た他の事業所の職員からは恵まれていると評価を受けている。	A ・ B ・ C ・ D
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	職員研修の実施状況 マニュアル等の作成状況 委託の状況	施設内外での研修についても実施している。	A ・ B ・ C ・ D
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む）。	利用拒否の状況、平等利用の取組状況	可能か限りの対応は行なっているが、利用についての約束について遵守できない場合には利用制限をしている	A ・ B ・ C ・ D
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか	個人情報保護の取り組み（対策）	守秘義務の徹底についてや個人情報の取り扱いについて十分に配慮の上、実施している。	A ・ B ・ C ・ D
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	収支決算の適正な管理	会計担当により適切な処理をなされている	A ・ B ・ C ・ D
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	施設修繕等の状況	子ども園側との連携しながら定期的 to 実施している	A ・ B ・ C ・ D
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	備品購入廃棄の状況	使用状況や劣化の有無などの状況を見ながら精査しているが、今年度内での廃棄については該当なし	A ・ B ・ C ・ D
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	事故等の発生状況 マニュアル等作成状況	子どもの活動状況に合わせながら環境設定を行うなどして、事故防止に努めている	A ・ B ・ C ・ D
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	基本協定書及び年度協定書の等遵守	配置職員全体で共通理解を図り、順守に努めた。	A ・ B ・ C ・ D
5 地域貢献			

雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	地元発注状況	可能な限り実施しているが、雇用に関しては町外からの人材採用が主となっているため、町内への定住・町内在住者の雇用について引き続き努力する。	A ・ B ・ C ・ D
---------------------------	--------	--	---------------

- A: 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B: 目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C: 概ね目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D: 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。

自己評価

★ ★ ★ ★ ☆

(最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。)

指定管理者の自己評価(全体を通して)

対象となる児童の学年は1年生から6年生まで多岐にわたり、利用頻度は週3～5回の高頻度層が多数を占めている。保護者は、児童との会話、アプリ「Storypark」、職員との直接的な対話を通じて施設での動向を把握している。安全性や情報発信の頻度については概ね適切な運用がなされていると評価されている一方で、日々の活動内容や児童の具体的な様子について、もう少し知りたいという要望もあった。

自然散策や農業体験、調理実習といった体験型活動や日常的なレクリエーション(おやつ作り、木工工作、各種ボードゲーム等)に対する満足度は高い。また、身体的・精神的な疲労を考慮した室内環境(ソファやビーズクッション等の配置)は、児童のリラックススペースとして有効に機能しており、保護者からも理解が得られた。

職員の資質および指導対応に関しては、日頃の真摯な関わりや相談のしやすさが評価された。しかし、トラブル発生時の対応や学童保育内でのルールや禁止事項の設定に対する意見が、一部の児童における登園回避(行き渋り)の要因となっている可能性がアンケート回答にあり、改善に努める必要がある。

施設運営およびシステム構築における改善要求は、保護者の利便性向上や安全性確保の観点から多岐にわたる。保護者の就労形態への配慮として、大型連休中の開所や長期休暇期間中の運営時間見直し、さらには放課後子ども教室の降園時間(現行の17時30分)を17時50分頃へ微調整する等の柔軟な対応が求められている。安全管理の側面では、球技等の遊びスペースの分離や安全性の確保、および長期休暇中の職員配置の見直しによる監視体制の強化が提唱されている。さらに、事務管理面においては、利用登録手続きの進捗状況を可視化するシステムの導入が期待されている。

本施設における体験を重視した保育運営は総じて高く評価されている。今後のさらなる質的向上に向けては、指導における情報共有の強化、安全な活動空間の確保、保護者の就労ニーズに応じた預かり時間の調整、および運営管理体制の充実と手続きの透明化が課題であると考えられる。